Triple Tree Media Information　2026年10月5日

今年最後の富士2連戦。菅生で見せたJujuのパフォーマンスをさらに向上させ、攻めのレースで挑む！



結成2年目を迎えた『HAZAMA ANDO Triple Tree Racing（以下、チーム）』は、10月9日（金）～10月11日（日）に静岡県・富士スピードウェイにて開催される『2026年全日本スーパーフォーミュラ選手権 第9戦・第10戦』に参戦いたします。

今大会は9日金曜日に2回のフリー走行が行なわれ、10日土曜日に第9戦の予選、決勝、11日の日曜日に第10戦の予選、決勝が行なわれるイベントです。

富士スピードウェイは世界でも有数の 1.5km のホームストレートを誇り、高速コーナーから低速コーナーまで多様にレイアウトされているサーキットです。マシンの最高速度を重視しながらも、高速コーナーでのダウンフォースや低速コーナーでのメカニカルグリップも求められるセットアップが難しいサーキットでもあります。

HAZAMA ANDO Triple Tree Racing にとっては、サーキット近郊に新ファクトリーがある本拠地でもあり、富士での公式テストで得られたデータと、前回の菅生大会で得られたデータをもとに、マシンのベースセットアップに余念がありません。

前回の菅生大会での決勝レースで素晴らしい走りを見せたJujuにとっても富士スピードウェイは得意なサーキットのひとつであり、この2連戦を楽しみにしながら、トレーニングに励んでおります。

また、今大会では多くのゲストの方々が応援にかけつけてくださるということもあり、チームにとって初めてのクリスタルテラス『Juju 応援席』をご用意させてい

ただいております。ピットビル屋上テラスに設置された特別応援席から、皆様の温かい声援をいただければ幸いです。



◆ドライバー　Juju のコメント

「前回のスポーツランド SUGO の決勝では、エンジニアさんやメカニックさんたちがギリギリまで頑張って大きくセットアップ変更をしてくれたおかげで、マシンのフィーリングがとても良く、何台も抜けて楽しいレースができました。今シーズン初めて自分本来の走りができたレースでした。その良いフィーリングとチームの勢いを継続して、さらにマシンを煮詰めるべく金曜日のフリー走行を最大限有効に使いたいと思っています。富士は得意なサーキットのひとつでもあり、自分自身この 2 連戦をとても楽しみにしていますが、自分自身にとって今回のテーマは、予選でひとつでも上のポジションを狙うことです。ハイレベルな予選になることは十分想像していますが、集中力を高めて予選に臨みたいと思います。もちろん富士は抜けるサーキットなので、決勝に向けたマシンのセットアップも重要です。できるだけ予選上位からスタートし、好スタートを決めて、とにかく 1 台でも多く抜いて、チーム全員でポイントを獲得したいと思っています。皆さん応援よろしくお願いします」

◆監督　野田英樹のコメント

「今回の富士大会は、チームとしての成長を見せなければならない大切なレースだととらえています。フリー走行、予選、決勝と、チーム全員が自分の中で自分の役割を理解し、コミュニケーションを取り、細かな作業をミスなくこなし、最後はドライバーに頑張ってもらえる環境づくりが大切だと思います。鈴鹿や菅生で見せた力強いレースを、ここ富士でもお見せできるように、限られた時間を有効に使いたいですし、持ち込みのセットを外さないようにすることも大切です。幸い天気予報は週末を通じて好天の予想ですが、天候やトラブルに影響されず、３日間で持てる力を最大限発揮できるレースにしたいですし、ミスなく最後まで戦い抜けば、結果はおのずとついてくると思っています」

◆代表　土沼広芳のコメント

「菅生大会でドライバーもチームも、何かを掴んでくれたというフィーリングを感じております。チャレンジャーとして攻めの姿勢を崩すことなく、今回の富士大会２連戦を戦い抜くための戦略を練っています。富士はオーバーテイクが可能なサーキットですし、Juju とチームが初ポイントを獲得するためには、決勝に向けたマシンのセットアップも重要だと考えます。もちろんうまく予選をまとめることが必要ですし、それができれば大きな飛躍が見られるはずです。チームは時間がある限りタイヤ交換の練習をしていますし、エンジニアたちもデータの解析に集中しています。マシンの何かほんの小さな部分が向上すれば、１周コンマ１秒縮まれば、大きくポジションが変わる厳しい世界です。それだけにやりがいもありますし、自分たちの可能性を信じて、富士大会に臨む所存です」



◆この件に関するお問い合わせ：マネージメントアドバイザー　チャーリー・チェン　cac@3tree.jp